

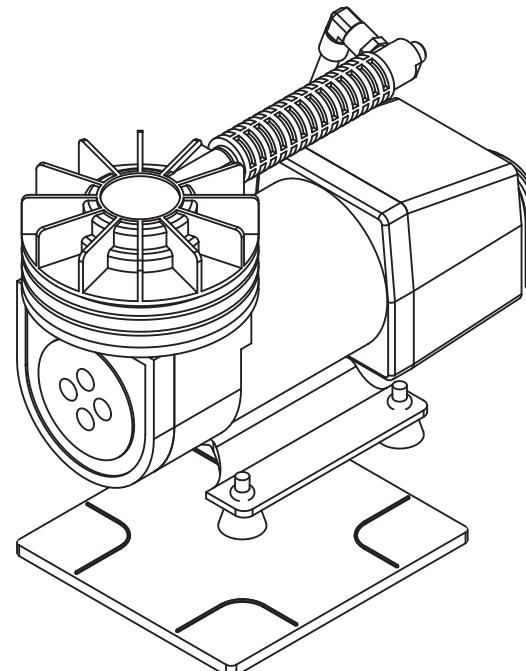
KISO
POWER TOOL

ミニコンプレッサー

E5405・E5605

取扱い説明書

ご使用前に必ずこの取扱い説明書を最後までお読みください。
また、この取扱い説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

- 表面
 - 保守と点検
 - アフターサービス
 - 各部の名称 / 仕様 / 用途
 - 使用上の警告および注意

- 裏面
 - 電源の接続とスイッチ操作
 - ヒューズの交換方法
 - 使用方法
 - 振動防止プレートの使用方法

保守と点検

- 使用後は、汚れなどを取り除いたのち、エアーブラシ、エアーホース等を取り外して保管してください。
- 使用後は、次回の使用に備えてネジ類のゆるみや、異常な箇所が無いことを確認しておいてください。
万一、異常があったときは、そのまま放置せず、メーカーに点検、修理を依頼してください。
(有償修理)
- 本体は防水構造ではありませんので、絶対に水などを付けて洗ったり、拭いたりしないでください。
また、絶対に揮発系の溶剤やガソリン、シンナーなどでも洗ったり、拭いたりしないでください。
変形、変色の原因となります。
- 保管は小さいお子様の手が届かない、室内の安定したところにしてください。
また、湿気がなく、直射日光の当たらない涼しい場所で、高温にならないところに保管してください。

アフターサービス

● 保証について

保証期間(1年間)中の故障につきましては、無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
保証についての詳しいことは、「保証書」裏面をご覧ください。

● 万一故障が発生した場合

故障または修理をご依頼される場合、アフターサービス係までご連絡下さい。

アフターサービス係

受付時間 月～金(祝日除く) 9:00～12:00・13:00～17:00

直通ダイヤル 06-6693-5353

修理をご依頼の場合、修理品は下記まで直接お送りください。
なお、送料はお客様のご負担となります。

〒545-0021

大阪市阿倍野区阪南町7丁目1-8

株式会社 キソパワーツール アフターサービス係

● 補修用部品の保有期間にについて

この商品の補修用性能部品(商品の特性を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後、3年間保有しております。

製造元 株式会社キソパワーツール

● 商品に関するお問い合わせは

株式会社 キソパワーツール アフターサービス係
〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町7丁目1-8
TEL:06-6693-5353 FAX:06-6693-5355

受付	月～金(祝日を除く) 時間 9:00～12:00 / 13:00～17:00
----	---

<http://www.kiso-proxxon.co.jp/>

※改良のため予告なく仕様、使用方法等を変更する場合があります。
100OSIK8001A

この度は、ミニコンプレッサーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
安全に能率よくお使い頂くために、ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

安全上のご注意

火災、感電、けがなどの事故を防ぐため、次に述べる安全上のご注意を必ず守ってください。
使用前に、これらのすべての注意事項を読み、そして指示に従って使用してください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。

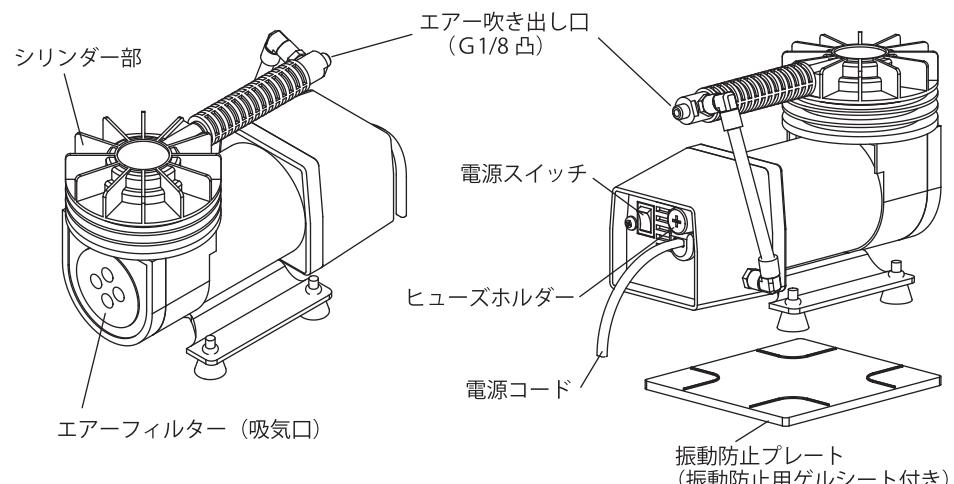
「シンボルとシグナル用語」の意味について

注意文の頭部の表示「シンボルとシグナル用語」の意味を説明します。
なお、**！ 注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。
！ 注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
！ 警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

！ 警 告

- 作業場はいつもきれいに保ってください。
- 作業場の周囲状況も考慮してください。また、感電にも注意してください。
 - コンプレッサーは、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で絶対に使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。 ●可燃性の液体やガスのある場所で使用しないでください。
 - コンプレッサーを使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
(例：パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外殻)
- 使用電源は家庭用 100V、50/60Hz 電源をご使用ください。
- 作業中無理な負荷をかけたり、銘板に表示してある定格使用時間以上の連続使用をすると、モーター部、電子制御部や器具体が異常に発熱し、故障やけがなどの原因となります。
 - 安全に能率よく作業するために、製品の性能にあつた作業をしてください。
 - 定格時間以上の連続使用はしないでください。長時間使用する場合は、指定の定格時間で必ず一度スイッチを切り(OFF)約 15 分たってから使用してください。
 - 小型のコンプレッサーは、大型のコンプレッサーで行う作業には使用しないでください。
- コンプレッサーは作動中および作動直後、シリンダーヘッド部およびその他の金属部分が熱くなりますので手などを近づけないでください。
- コンプレッサーは平らなどところで使用してください。
- 指定された用途以外での使用は絶対に行わないでください。
- 次の場合は、コンプレッサーの電源スイッチを切り(OFF)電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - 使用しない場合、または修理する場合。 ●エアーブラシ、アクセサリー等の取り付け、交換する場合。
- エアーブラシ、アクセサリー等の取り付けは取扱い説明書に従って確実に取り付けてください。確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。また、作業前には、必ず試運転を行ってください。
- 電源を入れる(ON)前に、付属品の取り付けに使用した工具類が取り外してあるか確認してください。
- 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、電源スイッチが切れている(OFF)事を確認してください。
- 延長コードを接続して使用する場合、器具体にあつた延長コードを使用してください。
- コンプレッサーは、注意深く手入れしてください。
 - 付属品の交換は、取扱い説明書に従って下さい。
 - コード類は定期的に点検し、損傷している場合は、メーカーに修理(有償)の依頼をしてください。
 - 握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付着しないようにしてください。
 - 駆動部、可動部、カバー部、スイッチ部やその他に損傷がないか十分に点検し、正常に作動しているか確認してください。異常のある場合はメーカーに修理(有償)の依頼をしてください。
- 指定の付属品や別売品、または指定している同等品を使用してください。それ以外の物を使用すると、事故やけがの原因になります。
- 誤っておとしたり、ぶつけたときは、本体に損傷や亀裂、変形がないことをよく確認してください。そのまま使用すると事故の原因になります。異常のある場合はメーカーに修理(有償)の依頼をしてください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合しています。改造は絶対に行わないでください。
- 修理は必ず弊社までお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- ◆その他、取扱い上ご不明な点があった場合、弊社、アフターサービス係までお問い合わせください。

■各部の名称



■仕様

モ デ ル	E5605	E5405 (生産終了モデル)
電 源	100V・50/60Hz	
定 格 消 費 電 力	110W	80W
定 格 使 用 時 間		30分
空 気 量 (0.2MPa時)	20ℓ	12ℓ
最 高 空 気 圧 力	0.3MPa	0.27MPa
自 動 ス イ ツ チ	0.28MPa…ON 0.3MPa…OFF	0.25MPa…ON 0.27MPa…OFF
機 体 尺 法	273X120X175mm	230X111X156mm
重 量	4kg	2.8kg
エ アー 出 口 口	G1/8凸	
付 属 品	・エアーホース2m(両口G1/8凹:E1312) ・振動防止プレート(振動防止用ゲルシート付き)	

※0.1MPa=約 1.0kg/cm²

※ずれ防止用ゲルシートは振動防止プレート(黒色の樹脂製)の4ヶ所に接着済です。

※自動スイッチの数値は基準値です。実際には±0.01MPa程度の誤差があります。

また、エアーピース(エアーブラシ等)によっては、上記数値を下回る、約0.2MPaでON(作動)となる場合があります。

■用途

- エアーブラシでの塗装
- ダスター作業

注意：本商品はエアーピース部にエア用トリガーやボタンを装備したエアーブラシやエアーダスターなどに最適です。

- 自動車用タイヤ、各種ボール、遊技用ゴムボートなどの空気入れ(各モデルの最高空気圧力まで)

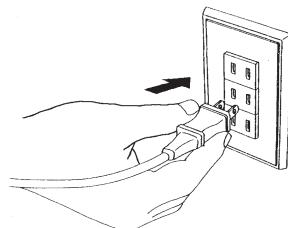
！ 警 告

各種空気入れは、必ず圧力計(市販品)を併用し、適正な圧力になるよう行ってください。

■電源の接続とスイッチの操作

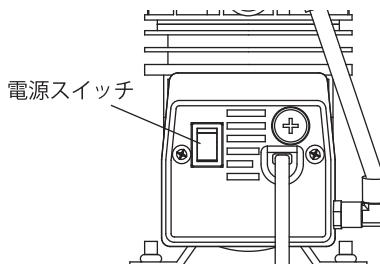
⚠ 警 告

- ・本機は家庭用電源 AC100V・50/60Hz 仕様です。
ご家庭の AC100V 用電源コンセント以外では使用しないでください。
- ・電源プラグを電源コンセントに差し込み、電源を接続するときは、必ず本機の電源スイッチが切れている（OFF）ことを確認してから行ってください。
- ・停電などの際は、電源スイッチを切ってから、電源コンセントから電源プラグを外してください。
- ・電源をはずすとき、電源コードを持って引き抜くと、断線の原因となるだけでなく、跳ね返りから、けがなどの原因になります。必ず電源プラグを持って引き抜いてください。



電源スイッチが切れている（OFF）ことを確認してください。確認後、電源コード先の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

電源をはずす（抜く）ときは、電源プラグを持って電源コンセントから引き抜きます。



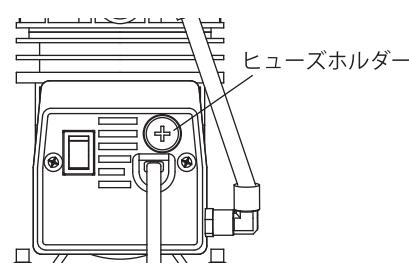
電源スイッチは ON 側を押すと、電源が入り、OFF 側を押すと、電源が切れます。

■ヒューズの交換方法

本機には本体機能保護のためヒューズが装備されております。ヒューズが切れた場合は下記を参照し、2A の管形ヒューズ（市販品）を交換してください。

⚠ 警 告

- ・ヒューズは 2A の管形ヒューズを使用してください。指定の物以外のヒューズでは本体機能が保護できず、事故、故障の原因になります。
- ・切れたヒューズはすぐに処分してください。
- ・ヒューズを交換するときは、必ず電源スイッチを切り（OFF）、電源プラグを電源コンセントからはずして（抜いて）、作業してください。
- ・ヒューズに子供を近づけないでください。
- ・度々、ヒューズが切れる場合、故障などの可能性があります。必ずメーカーまでご相談ください。



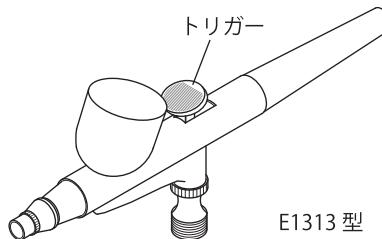
電源スイッチが切れている（OFF）事を確認後、電源プラグを持って電源コンセントから引き抜きます。
ヒューズホルダーを①ドライバー（市販品）を利用して、反時計回りに回し、ヒューズホルダーをヒューズと共に取り外します。
ヒューズを交換し、時計回りに回して、ヒューズホルダーを取り付けます。
ヒューズホルダーは樹脂製ですので締めすぎに、十分注意してください。

■ご使用方法

⚠ 警 告

- ・各種パーツの接続および取り外しの際は、電源スイッチを切り（OFF）、電源プラグを電源コンセントからはずし（抜く）、動作していないことを確認してから行ってください。
- ・各種パーツは取扱い説明書に従って確実に取り付けてください。
確実に取り付けされていない場合、十分な能力を発揮できないだけでなく、事故やけがの原因になります。また、作業前に必ず試運転を行ってください。
- ・電源スイッチを入れる（ON）前に、確実な接続であることおよび周囲に十分注意してください。
- ・コンプレッサーは常に平らなところで使用してください。
- ・コンプレッサー作動中、作動直後はシリンダーへッド部およびその他の金属部が熱くなります。手などを近づけないでください。やけどなどけがの原因となります。
- ・使用しないときは、必ず電源プラグを電源コンセントからはずして（抜く）ください。
- ・本機は防水型ではありません。絶対に水がかからないようにしてください。
- ・本機は完全無給油型です。油等はささないでください。
- ・使用中、エアーフィルター（吸気口）をふさがないでください。発熱の原因となります。
- ・電源スイッチを入れても（ON）始動しない場合、速やかに電源スイッチを切って（OFF）ください。
圧縮空気が機体内部やホース内に溜まっていることが原因の場合があります。一旦、電源を切つて（OFF）、30 秒以上間をあける、接続しているホースを取り外し空気を抜くなどしてください。その後、再度、電源スイッチを入れて（ON）ください。それでも始動しない場合、必ずメーカーまでご相談ください。
- ・自動スイッチの ON-OFF 圧力数値は機器の目安のため、空気入れなどの際、圧力が指定されている場合は、必ず圧力計（市販品）で圧力を確認してください。

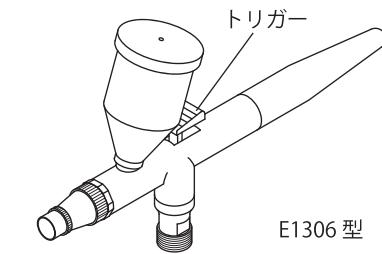
● E1306 型および E1313 型エアーブラシ（生産終了モデル）



① エアーブラシを本機に付属のエアーホースで接続します。

② 本書の P4 を参照し、電源を接続し、電源スイッチを入れます。
※このとき、一旦、作動しますがすぐに停止します。

③ エアーブラシのトリガーを下に押し込むと、自動でコンプレッサーが作動し、エアーブラシからエアー（空気）が出ます。



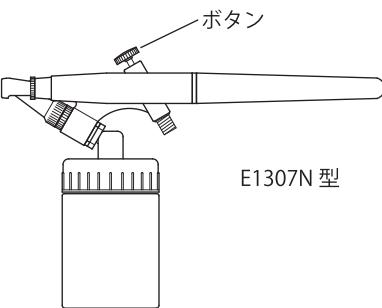
④ エアー（空気）の吹き出しを確認後、エアーブラシのトリガーを下に押し込みながら、後方に引くと塗料ができます。後方に引く量を調節し塗料の量を調節しながら塗装します。

⑤ 塗装が終りましたら、エアーブラシの後方に引いたトリガーを下に押し込みながら前方に戻し、次に、下に押し込んだトリガーを元の位置に戻します。

⑥ トリガーを元の位置に戻した際に、コンプレッサーが停止します。

⑦ 作業が終しましたら、必ず本機の電源スイッチを切って（OFF）、電源プラグを電源コンセントから取り外してください。

● E1307N型エアーブラシ（生産終了モデル）、E1310型エアーダスター



E1307N型



E1310型

- ① E1307N型エアーブラシの場合：
エアーブラシに付属のエアーホースとアダプターで接続します。アダプターはコンプレッサー側に取り付けます。
- E1310型エアーダスターの場合：
本機に付属のエアーホースで接続します。
- ② 本書のP4を参照し、電源を接続し、電源スイッチを入れます。
※このとき、一旦、作動しますがすぐに停止します。
- ③ エアーブラシ、エアーダスターのボタンを、押さえると、自動でコンプレッサーが作動し、エアー（空気）が出ます。
- ④ 作業が終わりましたら、ボタンを戻します。
- ⑤ ボタンを戻したとき、コンプレッサーが停止します。
- ⑥ 作業が終了しましたら、必ず本機の電源スイッチを切って（OFF）、電源プラグを電源コンセントから取り外してください。

！ 警 告

- ・作業終了後は必ず、本機の電源スイッチを切って（OFF）、電源プラグを電源コンセントから取り外して（抜く）ください。そのまま放置すると、エアーブラシ等からの微量な空気漏れにより、作動を繰り返し、事故等の原因になります。
- ・定格使用時間は連続して使用した場合の使用時間を明記しております。
電源（コンプレッサーの作動）の入り、切り（ON-OFF）の繰り返しは連続使用と同等ですので、定格使用時間を目安にご使用ください。

※ ご 注意 ※

本機にエアーブラシ等を接続し、ご使用いただいているとき、エアーブラシ等のトリガーやボタンの操作を行っていないのに、頻繁に電源（コンプレッサーの作動）の入り、切り（ON-OFF）が行われる場合、エアーブラシやエアーホース等からエアー（空気）が漏れている可能性があります。そのまま、使用を続けず、必ず、メーカーまでご相談ください。

● 自動車用タイヤの空気入れ [要：別売品 E1338型自動車ノズル]

！ 警 告

- ・自動車用タイヤの空気入れは必ず適正な空気圧になるよう、圧力計（市販品）を併用し、作業を行ってください。適正な空気圧でない場合、けがや事故の原因になります。
- ・自動車用タイヤへ空気入れを行った際は、必ず、自動車用タイヤ専門店などで再度、適正であるか、確認を行ってもらってください。
- ・自動車用タイヤへの空気入れのとき、状況に応じて（例：50%以上、空気が抜けている場合）、ジャッキアップを行ってから空気入れを行ってください。
- ・自動車用タイヤへの空気入れのとき、E1338型自動車ノズルが別途必要です。
(空気注入口の形状によって、適合しない場合があります。)

● 各種ボール、遊技用ゴムボート、エアーマットなどの空気入れ

[要：別売品 E1301型ノズル4点セット、E1329型アダプター]

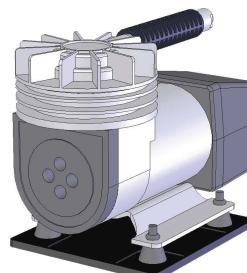
！ 警 告

- ・空気の入れすぎには十分注意してください。
空気の入れすぎは、ボール、ゴムボート等の寿命を短くするだけでなく、けがや事故の原因になります。
- ・ゴムボートへの空気入れは、遊技用（例：2人以下の小さいボート、プール用）以外には絶対に使用しないでください。
- ・別売品 E1301型ノズル4点セットに含まれる、自転車用ノズルで自転車用タイヤへの空気入れは出来ません。
- ・適正な圧力で空気入れを行うために、圧力計（別売品）を併用してください。

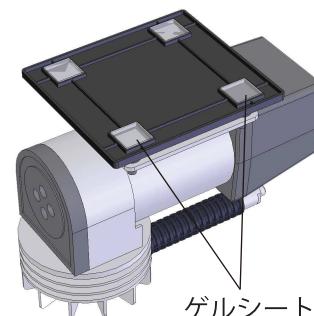
■ 振動防止プレートの使用方法

！ 注 意

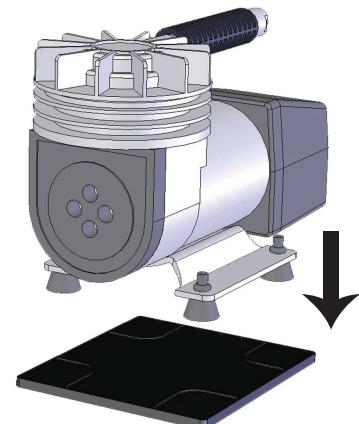
- ・コンプレッサーは必ず、平らな安定したところに設置してください。
- ・コンプレッサーはなるべく地面に近い位置に設置してください。
不安定なテーブルなどに設置した場合、振動で落下するなどし、けがなどの原因になります。



振動防止プレート装着図



ゲルシートから保護フィルムをはがします。
未使用的ゲルシートは非常に粘着力が強いため、鏡面仕上げのような表面が平らな物に設置する場合、ゲルシートに少量の水を塗布し（湿らせて）から設置してください。



コンプレッサーの本体足は吸盤状になっています。コンプレッサー本体足を振動防止プレートの4角に軽く、下に押しつけるようにし、設置します。